

特集：上田 薫

Museum Collection 3 A Universe of Reflections
Special Feature : Kaoru Ueda2017年1月28日(土)－3月26日(日)
神奈川県立近代美術館 葉山
主催：神奈川県立近代美術館

開館時間：午前9時30分－午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(ただし3月20日は開館)

観覧料：一般250(150)円、20歳未満と学生150(100)円、65歳以上と高校生100円

- ・「1950年代の日本美術」展をご覧の方は、同展の観覧券で同日に限り「コレクション展3」もご覧いただけます。
- ・()内は20名以上の団体料金です。
- ・中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。
- ・ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日(今回は2月5日、3月5日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。



1

◆ 展覧会概要

水面やガラス、シャボン玉……透明な「鏡」に映ろう像は、かすかに歪み、たえず揺らぎながら、時々刻々と変化しています。鏡の中のわたしは、いつも左右逆向きで、似てはいても同じではない、もう一人のわたしのようにも見えます。あたかも二枚貝のごとく、微妙にズレながら重なり合う実像と虚像。これら反映し合う像をイメージと呼ぶならば、イメージの根源とはまさしく「鏡の中」＝「反映の宇宙」に潜んでいるのかもしれませんが。

本展では、上田薫(1928-)を特集します。1958年、南画廊での初個展以後、デザイナーとして活躍した上田は1968年頃から画家として活動を再開。なま玉子やスプーン、水の入ったガラスのコップといった日常的な「事物」を対象に、写真を用いた独自のリアリズムを確立させます。その創作世界は、いわゆる「スーパーリアリズム」で括られるものではなく、むしろ一見、写実的な描写の中に、するりとさりげなく射し込まれた「反映」にこそ作家の視線は向けられていました。

1990年代になると、対象は身近な「事物」から、自らを包み込む自然——水の流れや大気、雲など変幻自在な「現象」へと広がっていきます。川や空に無数の光が反射し、乱舞する一瞬、一瞬を鮮明に描いた画面は、きらめく壮大な鏡とも言えるでしょう。本展では、1970年代の作品からシリーズ〈流れ〉や〈Sky〉への展開、さらに最新作を含む約15点を通して、上田が追求してきた「反映の宇宙」を再考したいと思います。

また、当館の版画コレクションから約50点の作品を通して、反映のイメージをさぐります。版画は、その成り立ちにおいて原版と画像が反転することから鏡の反映と合い通じます。長谷川潔(1891-1980)、浜口陽三(1909-2000)、丹阿弥丹波子(1927-)、草間彌生(1929-)、秀島由己男(1934-)、柄澤齊(1950-)らがモチーフとする鏡やガラス、水、貝殻、蝶などには、反映をめぐる版画ならではの眼差しがうかがえるでしょう。



2



3



4

上田薫 略歴

1928年 東京都生まれ。
 1954年 東京藝術大学油画科卒業。
 1956年 アメリカのMGM社ポスター国際コンクールでグランプリ受賞。
 1958年 南画廊（東京）で初個展。以後、グラフィックデザイナーとして活躍。
 1968年頃から再び絵画制作を始める。
 1970年 《貝殻》を制作。以後、シリーズ〈なま玉子〉〈シャボン玉〉などを発表。
 1972-75年 ジャパン・アート・フェスティバル展出品。75年、優秀賞受賞。
 1975年 第11回現代日本美術展出品。東京国立近代美術館賞受賞。
 1975-81年 フマ・ギャラリー（東京）で個展。
 1993年 UCPギャラリー上田（東京）で個展。シリーズ〈流れ〉を発表。
 2000年 光と緑の美術館（神奈川）で個展。シリーズ〈Sky〉を発表。
 現在、鎌倉市在住。

作品キャプション一覧

- 1、上田薫《ビンの底 A》1984年
油彩、カンヴァス（綿）
- 2、上田薫《流れA》1991年
油彩、カンヴァス
- 3、上田薫《流れB》1992年
油彩、カンヴァス
- 4、上田薫《Sky F》2001年
油彩、カンヴァス
- 5、柄澤齊《クロノスの盃》1979年
コラージュ、墨、ホワイ、紙
（美浦康重版画コレクション）
- 6、マルク・シャガール《男と鏡に映るその姿》（『ラ・フォンテーヌ寓話集』より）1927-30年制作/
1952年刊 エッチング、紙
（望月富助コレクション）
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2016, Chagall® G0707
- 7、秀島由己男《花子のコレクション》
1979年 エングレーヴィング、紙
- 8、長谷川潔《アカリヨムの中の小鳥》
（『長谷川潔の肖像』より）
1963年 エングレーヴィング、
ドライポイント、紙
（美浦康重版画コレクション）
- 9、草間彌生《Infinity》1953-84年
エッチング、紙

※全て神奈川県立近代美術館蔵。
 ※画像番号6をご掲載いただくには、著作権使用許諾申請（有料）が必要です。画像の使用をご希望の際は、JASPARまで直接お問い合わせください。
 ※その他の画像につきましても、当館までご連絡ください。

関連企画

◆上田薫氏によるアーティスト・トーク

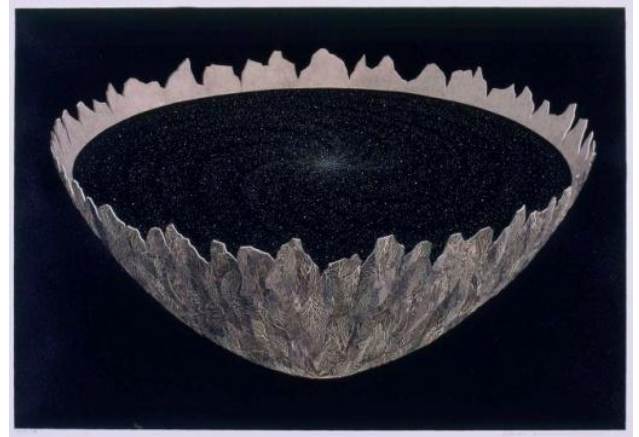
日時：3月11日（土） 午後2時-3時

◆学芸員によるギャラリー・トーク

日時：2月11日（土・祝） 午後1時-1時30分
 3月5日（日） 午後2時-2時30分

※いずれも展示室で開催。申込不要、参加無料（ただし、「1950年代の日本美術」展または「コレクション展3」の当日観覧券が必要です）。

※2月11日は午後2時より「1950年代の日本美術」展のギャラリー・トークを開催。



5



6



7



8



9